

### 3 ムダを徹底的に排除し、成果を意識した行財政運営

(2) ア (イ)	経常経費の削減 庁舎・事務所の維持管理費、IT経費 IT経費	<取組所管> ・取組①②：局・室
-----------------	--------------------------------------	---------------------

#### □ 3年間の取組と成果の総括

・市販のパッケージシステムの利用や競争性の確保等について全庁への指導・助言を行ったほか、統合基盤や基幹系システムの再構築に取り組んだことにより、システムへの投資の適正化と経常経費の圧縮を行った。

#### □ 3年間の取組状況

・市販のパッケージシステムや複数年契約、総合評価一般競争入札方式の活用を進め、新たなシステムを構築しながらもシステムへの投資の適正化と経常経費の圧縮を図ってきた。(取組①)  
・そのうち、システム運用に係る経常経費については、基幹系システムに共通する仕組み(統合基盤)を稼働させ、システム機器や機能を共有化するとともに、税・住民基本台帳や総合福祉システム等の再構築に向けたシステムの改善を進め、削減を図った。(取組②)

【取組の実施状況】取組①：A、取組②：A

#### □ 成果目標の達成状況

目 標	実 績	評価区分
<取組①の成果目標> 平成24年度以降のIT関連予算(経常経費)をシステムの再構築を始めた平成22年度の90億円以下に抑制	IT関連予算(経常経費) ・平成25年度 76億円 ・平成26年度 79億円 ・平成27年度 77億円	①
<取組②の成果目標> 平成27年度以降のIT関連予算(経常経費)を統合基盤や基幹系システムの再構築により削減	統合基盤や基幹系システムの再構築による削減効果額 平成27年度：▲2億5,000万円	①

#### □ 課題と今後の方向性

・既存の情報システムの陳腐化に伴う安定性の低下、マイナンバー制度の導入など法改正・制度変更によるシステムの複雑化や、経費の増加が懸念される。(取組①)  
・このため、引き続き、システムへの投資の適正化と経常経費の圧縮の取組を推進する必要がある。(取組②)

※「実績」欄の平成26年度決算額は見込額。

#### 【評価区分の凡例】

〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった  
〔成果目標の達成状況〕 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった